

## 第211号

平成27年(2015年)11月臨時会/12月定例会

- ◆ 2面～5面…会議の概要・代表質問
- ◆ 6面～9面…一般質問等
- ◆ 10面…常任委員会の審査概要等
- ◆ 11面…議会報告会等
- ◆ 12面…2015年の那覇市議会の動き等

なは

# 市議会だより

平成28年(2016年)1月22日発行

## 那覇市議会

那覇市泉崎1丁目1番1号

電話 (098) 862-8194

FAX (098) 862-8296

<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>

# 謹んで新春のお慶びを申し上げます



## 年頭のごあいさつ

### 二元代表制の一翼を担う議会としての責務を果たすため

平成28年(2016年)新春



副議長 古堅 茂治

本年も、市民の皆様におかれましては、実り多い素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、本市への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

イッペー ニフエー デービタン。



議長 金城 徹

新年あけましておめでとございます。皆様には希望に満ちた輝かしい平成28年(二〇一六年)の新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、私ども那覇市議会に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、市議会におきまして、議員提案による「めんそーれ那覇市観光振興条例」を制定いたしました。沖縄を訪れる観光客数が国内のみならず国外からも年々増加し過去最高を記録する中、引き続き、行政・市民・観光事業者及び観光関係団体と相互に連携して「国際観光交流都市」の形成に向けて協働して取り組んでまいります。

また、昨年五月と十一月には、開かれた議会をめざし、議会報告会を市内各四か所で開催しました。議員全員で市民への議会審議の報告と意見交換を行い、その中で市民から寄せられた多数の要望を取りまとめ、4つの重要事項として市長へ要望書を手交いたしました。こうした市民との交流を通して、市民意見を政策形成へ繋げていくことが議会の重要な役割だと存じます。

我々地方自治体は、二元代表制の仕組みの中で、地域それぞれの事情に合った判断を行い、政策を実行していかなければなりません。地方分権、地方主権への期待が高まる中、自立した自治体としての行政運営が強く求められているところであります。

32万市民の負託に応え、二元代表制の一翼を担う議会としての責務を果たすため、「監視機能」、「政策立案機能」の強化に加え、中核市にふさわしい、平和で活力ある「市民本位のまちづくり」に今後とも鋭意努めて参る所存であります。



「交通事故防止対策と飲酒運転根絶のさらなる推進に関する宣言決議」や条例制定、一般会計補正予算などを可決

# 12月定例会

平成27年12月定例会は、12月1日から同月24日までの24日間の会期で開催され、決議書1件、一般会計補正予算や条例など53件が可決、同意されたほか指定管理者の指定について1件が不同意となりました。

## 会議の概要

### ◆12月1日（開会）

#### 提案理由聴取

市長から、52件の議案が提出され、それぞれの所管部長から提案理由の説明が行われました。

### ◆12月10日

#### 追加議案の提案

一般質問の終了後に、条例制定に係る2件の追加議案について、総務部長から提案理由の説明が行われました。

### ◆12月24日（最終日）

#### 決議書、補正予算の可決、議案の討論・採決、同意

議案の採決の前に「交通事故防止対策と飲酒運転根絶のさらなる推進に関する宣言決議案」が提案され、全会一致で原案が可決されました。

続いて、総務常任委員会関係議案7件、建設委員会関係議案7件、教育福祉常任委員会関係19件、厚生経済常任委員会関係15件及び予算決算常任委員長関係議案6件の各常任委員会の審査報告がそれぞれの常任委員長よりあり、採決の結果、「那覇市IT創造館の指定管理者の指定につ

いて」は、賛成少数により不同意となり、その他の議案は、原案のとおり可決及び同意されました。

「那覇市IT創造館の指定管理者の指定について」の議案に関しては、以下のような議論がありました。

まず、原案に賛成の立場から日本共産党の我如古一郎議員が討論を行い、「選定委員会における当局の発言が、選定委員の審査を誘導し、適正な審査が行われなかったとの反対意見があったが、包括外部監査報告による種々の指摘事項などについて、委員が情報を共有して適正な審査を図る目的で報告したもので、適切な事務処理である。また、申請団体の役員でない審査委員は、当局が定めた『指定管理者制度に関する運用指針』で設定された除外要件には当たらず、選定委員会の委員として審査を適切に行っているものと評価できる。除外の要件にあたらないのに、不適切などと指摘するのはおかしい。」との意見がありました。

次に、原案に反対の立場から無所属の会の中村圭介議員が討論を行い、「審議にあたって行政が設定した審議体制が不十分なものであり、問題であるということである。共に協力・連携しながら事業を行う団体が指定管理者の選定をする側と応募する側にいるという事態になっても、市が適切な配慮をすることなく、そのまま審議を行ったことである。」との反対の討論がありました。

続いて、同じく原案に反対の立場から公明党の糸数昌洋議員が討論を行い、「当局の対応に問題があるという観点からの反対である。1点目に選定委員会の委員の選任が適切であったかという点である。2点目に運営審議会における議事進行のあり方、特に当局の関与に行き過ぎがあったのではないかとこの点である。」との反対の討論がありました。

陳情事件は、3件が全会一致により採択され、2件の陳情は、採決の結果、賛成多数により採択されました。

各会派の代表が市政をただす

# 代表質問



※紙面の都合上、発言内容は要約してあります。

## 沖縄国保への財政支援を



桑江 豊

本市を含めた本県の国民健康保険が赤字となった要因は、平成20年度に創設された「前期高齢者交付金制度」が、先の大戦で本県に不利になった。その後、国に対する財政支援の要請行動について、私も3回同行して行ってきた。以下同う。

①これまでの要請行動に対する進捗について

②今後の見通しと「国保財政安定化支援事業」の算式見直しとの関連及び経緯について

本市を含めた本県の国民健康保険が赤字となった要因は、平成20年度に創設された「前期高齢者交付金制度」が、先の大戦で本県に不利になった。その後、国に対する財政支援の要請行動について、私も3回同行して行ってきた。以下同う。

①これまでの要請行動に対する進捗について

②今後の見通しと「国保財政安定化支援事業」の算式見直しとの関連及び経緯について



国に対して国保への財政支援要請

## 琉球文化の殿堂「御茶屋御殿」復元へ前進

公明党 野原 嘉孝



琉球文化の殿堂・御茶屋御殿の復元へ向け、2月議会でも「御茶屋御殿の国の文化財登録へ向けた取り組みについて平成28年度の芽出しを目指す」旨の答弁があったが計画の現状を伺う。

ワーキンググループの開催状況、及びカトリック教会の移転候補地探しの提案についてはどうな

琉球文化の殿堂・御茶屋御殿の復元へ向け、2月議会でも「御茶屋御殿の国の文化財登録へ向けた取り組みについて平成28年度の芽出しを目指す」旨の答弁があったが計画の現状を伺う。

ワーキンググループの開催状況、及びカトリック教会の移転候補地探しの提案についてはどうな



御茶屋御殿跡(首里崎山町)説明版

会議が開かれた。その中で、移転候補地については「市有地だけでなく、国有地、県有地まで視野に入れて検討していく必要がある」と市議会でも提案があったことを伝えた。国・県・市の連携協力は重要であることから、今後ともワーキンググループにおいても検討を重ねていきたいと考えている。

## 地方版総合戦略について

公明党 糸数 昌洋



1 今般、素案がまとまった那覇市版「人口ビジョン」及び「総合戦略」について、①策定の意義②策定のプロセスへの市民参加③人口ビジョンの概要と将来展望④総合戦略の概要について問う。

2 第一牧志公設市場再

整備事業の進捗状況について問う。

□市長・関係部長

1 意義は今後の人口と構成比の変化を的確に捉え対策に取り組むことにある。策定過程では市民へのアンケート調査、関係団体へのインタビューや産官学金労言の有識者会議の意見などをもとに策定した。人口ビジョンでは、本市の人口は2020年頃にピークを迎え2060年には約25万人まで減少し人口構成が大きく変わる。将来展望として活力ある那覇を維持するため人口30万人を将



那覇市版総合戦略で施策実現を

来も維持していく。総合戦略はビジョンで描いた将来展望実現のため当面5年間の施策をとりまとめた。方向性は、子育てが楽しくなるまち、希望と活力あふれる暮らし



働けるまち、みんなが健康で協働するまちの3つを柱にしている。

2 公設市場組合提出の嘆願書及び陳情書について内容をしっかり受け止

め回答した。再整備の手法は基本構想の3案に組合要望の長寿命化案を加え検討し直す。

### 市長の政治姿勢及び市長公約について

新風会

仲松 寛



1 「辺野古新基地建設」代執行訴訟について伺う。

2 市長就任1年。市長公約について伺う。

□市長

1 代執行訴訟については、翁長知事の強い意向で出廷され意見陳述をしましたが、沖縄の歴史、基地問題の原点、基地経済や振興予算に対する誤解、基地問題に対するこれまでの政府の対応など、

### 待機児童解消対策について

新風会

渡久地 政作



待機児童解消対策について

□市長・関係部長

待機児童の問題は、児童福祉法の適用が本土復帰以降となった沖縄の特殊事情も大きな要因の一つであり、本市のみならず沖縄県全体の課題であると思っている。本市で

### 旧軍飛行場用地問題について

新風会

平良 仁一



旧軍飛行場用地問題について伺う。

□市長・関係部長

本市には、鏡水地域の



普天間飛行場の現況

旧地主会と大嶺地域の旧地主会の2つの関係地主会が存在し、前団体については、特定地域特別振興事業を活用し、「鏡水ふれあい会館」が完成している。もう1つの旧大嶺地主会については、事業化に至っていないが、特定地域特別振興事業による問題解決を受け入れ、（仮称）「那覇市保健センター複合施設」の整備に向けて取組んでおり、基本構想、基本計画を経て、今年度は、基本設計を行う予定である。それに加えて今後、同団体から那覇市に対し、「大嶺地域の振興・活性化に資する施設」を関係機関との協議の上で推進するという臨時総会の事業方針に沿った提案がなされた場合は、課題整理等を行い実施に向けた検討の必要があると考えている。



「鏡水ふれあい会館」で議会報告会を開催（平成27年5月27日）

### 第一牧志公設市場について

新風会

山城 誠司



1 第一牧志公設市場について

2 龍柱について

寿命化工事案を加え、4つの案で改めて検討し直すこととしている。

□市長・関係部長

1 第一牧志公設市場再整備事業を円滑に進めるため、市場組合や中心商店街連合会の役員の皆様と今後の進め方等について、意見交換を重ねているところである。昨年度とりまとめた基本構想における市場事業者転出方式、仮店舗リース方式、にぎわい広場移転案の3つの案に公設市場組合から要望のあった新たな長

2 龍柱のお披露目については、先日、地域住民の方からは是非一緒にお祝いたいとお声かけをいただき、現在、地域住民の皆様や関係者の皆様为一体となって、新しい那覇市のシンボルを祝うお披露目イベントが開催できないか検討を進めているところである。お披露目イベントを通して、地域の皆様に末永く愛さ



第一牧志公設市場

### 市長の政治姿勢について

社社市民ネット

上原 快佐



1 市長の政治姿勢について以下伺う。

①今日における建白書の意義について

②基地問題における人権の考え方について

2 就労継続支援B型事業について以下伺う。

①就労継続支援B型事業所からの指摘について

②今後の取り組みについて

□市長・関係部長

1 ①平成25年1月28日、建白書を携え、県議会、そして41の市町村首長及び市町村議会議長がひと

つにまとめ、オール沖縄で行った東京行動は、沖縄の政治上、極めて大きな意義を持つ出来事であった。イデオロギーに軸足を置いた単純な保守の対立を乗り越え、オール沖縄でまとまるという沖縄の政治史上極めて大きな意義を持ち、過去の歴史を顧みても大変特筆に値するものであると認識しており、今日においてもその意義は何ら失われていないと考えている。

②建白書の中で沖縄県民に対する差別以外何もでもないというように、基地問題が人権に大きな影響を与えていると認識している。

2 ①平成27年度からの新規申請について、就労継続支援B型事業所から就労移行支援を経ず、B型を利用したい希望者が



安倍総理に直訴（平成25年1月28日）

れ、誇れる龍柱になることを期待している。



辺野古新基地建設について

社社市民ネット

下地 敏男



1 国が辺野古新基地建設を強権的に押しつけている中、城間市長が辺野古闘争現場へ出向き市民を激励する予定を伺う。

2 マイナンバー制度の導入は、個人のプライバシー侵害や自由を奪うことが懸念される。しかし自治体業務は進めなければならぬ。通知カードが届いていない多くの市民がいるが、理由を伺う。

3 教育行政について

①教育にかかる費用で家計を圧迫している現状での給食費値上げは、認められない。教育長の見解を伺う。

②車による連れ去り未遂など子ども達が危険にさらされている現状について伺う。

4 本市の経済発展の阻害要因となっている那覇自衛隊基地の整理縮小について市長の見解を伺う。



止めよう辺野古新基地建設  
国の横暴・工事強行に抗議する県民集会

建白書の実現は保革を超えた県民の総意

日本共産党

我如古 一郎



1 新基地建設問題で安倍政権・石井啓一国土交通大臣は、知事の取消処分を撤回する代執行の訴訟を福岡高裁那覇支部に起こした。国による代執行訴訟は、翁長知事の意思、沖縄の圧倒的民意を踏みにじり、国家権力によって民主主義と地方自治を破壊する憲法違反の不当極まる暴挙ではないか。

2 臨時職員の出産育児休業について制度を改善すべきではないか。

3 国保の赤字の要因を問う。

1 健康な21第2次計画の特徴について、市長の見解を伺う。

2 生活習慣病重症化予防モデル事業を問う。

3 ひとり親世帯が市営住宅に入居しやすいよう

市民の健康増進の強化を

日本共産党

翁長 大輔



1 私が本部長となり、全部局を横断し、健康長寿の復活に向けしっかりと取り組んでいく。

2 スマホでドック希望者がサイトへ申し込むと検査キットが届き、自宅ですぐに血液検査ができる。働き盛り世代が自分の健康に関心を持ち特定健診・健康診査受診に繋げるきっかけにしたい。



スマホでドック パンフレット

2 建設候補地の決定で大きな影響を受ける現市民会館周辺の市民や、久茂地地区及び周辺の通り会を含めた市民の意見はやはり重視すべき



久茂地小学校跡地に面する一銀通り

非常勤職員と同様な制度の整備が必要だと理解している。速やかな対応をしたい。

3 26年度決算で43億円の赤字。1人当たりの医療費は全国最下位、収納率は全国9位。平均所得は低く値上げは厳しい。全国平均の5分の1しかない前期高齢者交付金は、本県の市町村国保が赤字となる大きな要因になっている。事は明らかである。



代執行訴訟に臨む翁長県知事

①平成25年8月に新市民会館の建設地が久茂地小学校跡地に決定した理由とその経緯を伺う。

②文化芸術の発信拠点である新市民会館の建設場所の選定は一番大事なことであり、一部地域や一部の市民の声だけでなく、那覇市全域の市民の声を傾けて選定するべきだったと思うが見解を伺う。

③中心となる交通アクセス



自民党

久高 友弘

①平成23年12月の久茂地小学校を存続させる会との意見交換の場で翁長前市長が久茂地小学校跡地を私案として表明し、24年10月以降、国際通りを中心とする商店街代表、真和志地区前自治会長など、複数の団体と意見交換を行った。現市民会館建設地と新都心仮庁舎跡地及び久茂地小学校跡地の3ヶ所を検討した結果、どの建設候補地にも課題はあったが、本市全体の発展、中心市街地活性化への寄与と公共交通機関の利用促進施策への寄与等が評価され最も適していると判断し決定された。

②建設候補地の決定で大きな影響を受ける現市民会館周辺の市民や、久茂地地区及び周辺の通り会を含めた市民の意見はやはり重視すべき



久茂地小学校跡地に面する一銀通り

新市民会館の建設について

自民党

久高 友弘

①平成23年12月の久茂地小学校を存続させる会との意見交換の場で翁長前市長が久茂地小学校跡地を私案として表明し、24年10月以降、国際通りを中心とする商店街代表、真和志地区前自治会長など、複数の団体と意見交換を行った。現市民会館建設地と新都心仮庁舎跡地及び久茂地小学校跡地の3ヶ所を検討した結果、どの建設候補地にも課題はあったが、本市全体の発展、中心市街地活性化への寄与と公共交通機関の利用促進施策への寄与等が評価され最も適していると判断し決定された。

②建設候補地の決定で大きな影響を受ける現市民会館周辺の市民や、久茂地地区及び周辺の通り会を含めた市民の意見はやはり重視すべき



久茂地小学校跡地に面する一銀通り



那覇市の非正規職員について

瀬長 清



ひやみかち那覇無所属の会

ない。そのためには、定型的、臨時的、専門的知識や技能を必要とする業務については、正規職員のほか、臨時職員・非常勤職員等の活用が必要だと考えている。

今後も引き続き、多様な任用形態を柔軟かつ弾力的に活用し、職員の適正配置を行っていきたい。

那覇市の非正規職員のあり方について、どのように考えているのか伺う。

□市長

行政ニーズは多様化・高度化しており、行政サービスの質を維持しながら、効率的に市民サービスを提供しなければなら



多くの職員が勤務する那覇市役所庁舎

那覇市小中学校2学期制のあり方・課題の検証を

坂井 浩一



ひやみかち那覇無所属の会

1 市内小中学校への2学期制導入から10年、宜野湾市、石垣市は学校2学期制を3学期制に戻した。浦添市も来年には戻す。2学期制のあり方、課題等、なぜ本市はこれ

まで一度も検証がなされていないのか。また、①子ども達の成績評価挽回の機会が減る。②長期休暇の苦手分野の克服がやりにくい。③中学3年時、高校受験前の評価がない等々、多くの課題を教育委員会はどのように捉えているのか。現場や保護者の意見に耳を傾けるべきである。

2 これからますます「家庭教育」の重要度が増してくる。人材育成の推進を図る上で、教育委員会は「家庭教育」をど

協働によるまちづくりの変化について

中村 圭介



無所属の会

1 市長はこの1年で那覇の協働によるまちづくりはどのような変化があったと考えるか、成果と課題について問う。

2 第5次総合計画策定に向け本市のホームページの計画一覧の充実を図るべきだと考えるが当局の見解を問う。

□市長・関係部長

1 この1年の主な事業としては「なは市民協働大学院」の開設「福祉避難所の確保に関する協定締結」「慢性腎臓病（CKD）病診連携事業の推

進」などが挙げられる。また「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言を行った。そして、協働の新たな拠点として「なは市民協働プラザ」を開設した。今後、少子高齢化社会を迎える現状を踏まえ、地域でのつながりをさらに強化していくことが課題であり、そのためにも地域で活躍できる人材の発掘や育成に鋭意取り組んでいきたい。

□教育長・関係部長

1 検証がなされておらず、ご指摘を踏まえ、現在取り組んでいる小中一貫教育の完全実施後に、検討委員会の設置について協議したい。

2 全ての教育の出発点である家庭教育を推進することは重要である。

議員ご指摘を踏まえ、保護者・学校・地域3者の連携を密にし、更なる充実に努めていきたい。



市内の全小中学校で2学期制を実施している

那覇市議会の活動をホームページで公開しています。

アクセス方法

「那覇市議会」で検索してください。

<http://www.gikai.city.naha.okinawa.jp/>

または、那覇市ホームページの【那覇市議会】からもアクセスできます。

★那覇市議会ホームページは、2月からリニューアルいたします。

★ホームページでは、アメリカ統治下時代の会議録を公開しています。

【電子書籍版】「アメリカ統治下時代那覇市議会会議録」

【テキスト版】「会議録検索（アメリカ統治下含）」→「アメリカ統治下時代の会議録へ」

仲井真地区まちづくり協議会について

花城 正樹



なは民主

仲井真小学校区では、まちづくり協議会を発足するための準備委員会が立ち上がった。例えば教育や防災等をテーマに勉強会をやっていききたいと



なは市民協働プラザ



仲井真小学校

市内ジョギングコースの整備について

清水 磨男



なは民主

1 市内ジョギングコースの整備や修繕状況は。

2 沖縄角力に対する那覇市の取り組みは。

□関係部長

1 市内ジョギングコースは、5カ所がゴムチップ舗装されている。新都心公園は、平成26年度の12月から3月にかけて



新都心公園ジョギングコース

専門業者を入れて補修をした。利用者や日常点検の情報等でも補修や改修を行っており、今後も快適に利用できるよう努める。

2 年間50大会以上、市内では4大会開催され、各イベントを盛り上げている。教材DVDが各学校に配布されている。

那覇市議会インターネット中継



那覇市議会ホームページの議会インターネット中継では開催中の本会議と予算決算常任委員会をご覧になれます。過去に開催された会議も録画でご覧になれます。

<http://www.naha-city.stream.jfit.co.jp/>





やる気・元気旗頭フェスタinなはについて



■金城眞徳  
(新風会)

- 1 旗頭フェスタinなはで小学校が16校も参加していない理由を伺う。
- 2 石嶺町に計画している浸水被害軽減雨水貯留施設の進捗状況を伺う。
- 3 沖縄都市モノレール延長事業について伺う。
- 4 「那覇大綱挽まつり」における大型ビジョンの複数設置及び仮設トイレの問題について伺う。

関係部長

- 1 別の学校行事と重な

市営住宅空き駐車場の活用について



■下地敏男  
(社社市民ネット)

特色のある図書館のあり方について質問したが、その後の状況を伺う。

関係部長

- 1 福祉事業を支える訪問介護事業（居宅介護支援、通所介護、訪問介護、訪問入浴）等でヘルパー訪問の際の駐車スペースについて活用出来ないか。
- 2 健康増進と生きがいづくり、医療費の抑制のため、公式試合のできるグラウンド・ゴルフ場を計画したらどうか伺う。
- 3 9月定例会で図書館サービスのレファレンス強化、サービスの意義と

首里城で日中韓首脳会談の開催を



■平良識子  
(社社市民ネット)

- 1 日中韓の3カ国協議を万国津梁の平和の中心地である沖縄、そしてその象徴である首里城で開催することは沖縄の平和ブランドを世界に発信するという意味でも大切と思う。市長の考えを伺う。
- 2 去る11月4日、本市議会超党派女性議員の会7人は、教育長に対して、本市全校の出席簿において、性別で分けない名簿（男女混合名簿）を導入

学校のオープン型教室の再考を



■湧川朝渉  
(日本共産党)

- 1 学校施設のオープン型教室のあり方について。
- 2 学童保育料の減免、夜間学童について。
- 3 大嶺の船だまり場などの整備状況について。
- 4 学校のトイレ室における洋式便器の整備。

教育長・関係部長

- 1 教室で授業している先生方の意見を聞きながら、子どもたちにとってよりよい学習環境はどういうものか、今一度こ

するように要請をした。現状と見解を伺う。

市長・関係部長

- 1 2000年開催の九州・沖縄サミットでは、総理主催の晩餐会会場になった。日中韓首脳会談の開催にはふさわしい場所と考える。
- 2 本市の出席簿における男女混合名簿の導入の現状は、真嘉比小と神原小の2校となっている。教育委員会としては、子どもたちが目に見える、耳にふれる名簿を、男女混合になるよう強く推奨したいと考えている。

ハワイ沖縄プラザ建設に対するサポートについて



■花城正樹  
(なは民主)

- 1 ハワイから届けられた550頭の豚はその後10万頭に増え、沖縄の戦後復興に大きく貢献した。かつて灰じんと帰した沖縄を救った豚に対する恩返しという意味で、有志によるハワイ沖縄プラザ建設募金推進本部が立ち上がり、6500万円を目標に県民に広く募金を呼びかけている。
- 1 ハワイ沖縄プラザ建設に対するサポートについて

信号機の設置状況、保護世帯の進学への取組み



■粟國 彰  
(自民党)

- 1 自家発電装置などを備えた信号機が増えており、災害などで停電が起きた際、交通事故の防止や住民の非難ルートに役立つと期待される。本市内の設置状況や取組みについて伺う。
- 2 本市の生活保護世帯の高校進学率と進路状況は把握しているか。それについて、どのように取り組んでいるか伺う。

関係部長



■前田千尋  
(日本共産党)

- 1 農運市場地区防災街区整備事業の概要、市営住宅整備と子育て支援・与儀保育所について問う。
- 2 与儀保育所仮施設は、移転後は認可保育園などの保育施設として引き続き活用すべきである。
- 3 久茂地児童館と地域コミュニティ整備は地域の声を聞き早急に設置すべきである。計画を問う。

関係部長

- 1 活気とにぎわいに溢

臓器移植の課題を国・県・市で整理すべき



■前泊美紀  
(無所属の会)

- 臓器移植については、国・県・市で課題を整理し取り組む必要があると考える。市の見解を問う。

副市長・関係部長

- 平成21年7月の臓器移植法改正で国内での小児移植の道が開けたが、倫理観の問題や移植の提供者が少ない等の理由でめどが立たず、海外で移植を受けざるを得ない状況にある。その場合、医療保険の適用や公的補助が

農運市場地区防災街区における市営住宅と保育所の整備

れるマチグワー空間の再生を図り、商業施設、地区内の権利者住宅、民間分譲住宅、約300台の駐車場を建設。市営住宅は与儀保育所、子育て支援センター及びコミュニティ施設を併せた複合施設で多子世帯向け70戸を整備。与儀保育所は5歳児枠を新設し116人定員予定。2 仮施設の土地、建物は認可保育所等に限定し売却する。

- 3 緑ヶ丘公園に移転し子どもから高齢者まで活用できるコミュニティ拠点施設の設置を検討する。

議会傍聴の方の本庁駐車料金については

1 時間を超える分は割引券を発行いたします。

なは市議会だよりに関するお問い合わせは

議会事務局調査法制課  
☎ 098-862-18194

那覇市議会の本会議・委員会を傍聴

しませんか。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。  
☎ 098-862-18108



飲酒運転及び大シースーについて



■屋良 栄作  
(ひやみち那覇・無所属の会)

1 飲酒運転の防止、事故の撲滅に向けて、どのような対策を講じているか伺う。

2 大シースーについて(国際通りさいおんスクエア及び壺屋のやちむん通り入口の巨大な2体のシースーをギネスブックに登録させることは可能か伺う。)

1 飲酒運転を含めた交通事故の根絶に向けては、

1 飲酒運転を含めた交通事故の根絶に向けては、

全国学力テストについて



■宮城 恵美子  
(社社市民ネット)

1 学力向上のためとして「補習」が盛んであり、「補習実態」について、県教職員組合那覇支部から、本市に「決議書」が出されている。学校現場では92時間の残業が毎月行われており、教師のアンケート調査などをしっかりして、検証して頂きたいが、見解を伺う。

2 高良小学校の建替事業について、行政と学校関係者の相互理解を含め

1 利用客が増えた栄町の公衆トイレも築年数が54年、途中で改装もされたが、新築する必要があるか。

栄町公衆トイレの新築を



■知念 博  
(新風会)

1 今年度、事業実施が見送られた「はり・きゅう・あん摩等助成事業」について、事業継続を求める陳情等がある。今後の見通しについて伺う。



■宮平のり子  
(社社市民ネット)

1 今年度、事業実施が見送られた「はり・きゅう・あん摩等助成事業」について、事業継続を求める陳情等がある。今後の見通しについて伺う。

2 子どもの貧困について以下伺う。

1 県内において特に子どもの貧困率が高い要因

2 市内の世帯数

3 本市の対策について

1 陳情等のほか、6月

性の多様性・LGBTの施策拡充を



■古堅 茂治  
(日本共産党)

1 「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(略称・レインボーなは宣言)を活用した施策の拡充と展開について問う。

2 日本最古の蒸留酒

はり・きゅう・あん摩等助成事業について

1 一流の観光地は一流のトイレがあると、トイレを見て観光というのは決まるといふ指摘を、受けた記憶がある。

公衆トイレについて、求められているものは整備する方向性を出さない

透させるための啓蒙活動は非常に重要、ポスターやパンフレットなどの製作、職員研修の充実、先進自治体が行っている同性間のパートナーシップに係る施策を当事者や関係者との意見交換を交えて慎重に検討したい。

2 実施校は、真嘉比小学校、識名小学校、上山中学校、神原中学校、小

緑中学校、金城中学校の6校である。取り組みの方法は、それぞれの学校の実情に応じての計画となっている。食事準備の手伝いやつくった人へ感謝するようにするなど成果が報告されている。

1 学校、災害、介護、観光等の点から公共トイレの洋式化を問う。簡易型洋式トイレの導入は。

2 寄付による遊具設置の進展を問う。

3 広告を用いた保安灯の設置、管理を問う。

1 小学校で和式179

9器、洋式843器。中学校で和式807器、洋式354器。公園で和式157器、洋式167器

1 市管理の公園内におけるドッグランの状況について伺う。

2 古波蔵上線道路整備事業のスケジュール及び進捗状況について伺う。

1 本市のドッグランについては、平成24年2月議会議員提案もあり、平成24年3月に新都心公園多目的広場で初めて開

ながら進めていきたい。

2 琉球泡盛によるかんばんの奨励は意義があり、地産地消を促進し、泡盛産業の振興に大きく貢献できるものと考えている。

3 遺族会とも意見交換して慎重に検討したい。

1 本市への知的障がい特別支援学校設置にむけた取り組みと県との連携、話し合いの進捗を伺う。

2 那覇市長、教育長、教育行政のプロとしてぜひ政策の実現力を期待する。

2 那覇市の発展につながる「那覇市第一牧志公設市場」の再整備の今後の取り組みについて伺う。

法にかなない、情にかなない、理にかなうような前向きな取り組みを要望する。

1 県もワーキングチームを作った進めることを前向きに検討すると聞いている。教育委員会としても特別支援学校設置は必要だと認識しているの

で今後とも県と連携を図り進めていきたい。

2 従来の3つの案に「長寿命化工事案」を加え4つの案で改めて検討し直すことにした。安全性や防災、コスト削減、街なか居住等の観点や事業者の視点、来街者の動線といった多角的な観点等を鑑み柔軟に対応したい。

1 集会所が無い自治会は何力所か。また、公園を有効活用し、自治会事務所・集会所の設置を推進してはどうか。

2 戦後の沖縄美術活動の拠点であったニシムイ美術村、その美術村跡における整備事業について、その意義及び今後の取り組みについて伺う。

1 157自治会のうち、集会所等の設置がある自

平成30年度に事業着手を予定し、順次実施設計を進めていきたい。

1 県もワーキングチームを作った進めることを前向きに検討すると聞いている。教育委員会としても特別支援学校設置は必要だと認識しているの

で今後とも県と連携を図り進めていきたい。

2 従来の3つの案に「長寿命化工事案」を加え4つの案で改めて検討し直すことにした。安全性や防災、コスト削減、街なか居住等の観点や事業者の視点、来街者の動線といった多角的な観点等を鑑み柔軟に対応したい。

1 集会所が無い自治会は何力所か。また、公園を有効活用し、自治会事務所・集会所の設置を推進してはどうか。

2 戦後の沖縄美術活動の拠点であったニシムイ美術村、その美術村跡における整備事業について、その意義及び今後の取り組みについて伺う。

1 157自治会のうち、集会所等の設置がある自

ながら進めていきたい。

2 琉球泡盛によるかんばんの奨励は意義があり、地産地消を促進し、泡盛産業の振興に大きく貢献できるものと考えている。

3 遺族会とも意見交換して慎重に検討したい。

1 本市への知的障がい特別支援学校設置にむけた取り組みと県との連携、話し合いの進捗を伺う。

2 那覇市長、教育長、教育行政のプロとしてぜひ政策の実現力を期待する。

2 那覇市の発展につながる「那覇市第一牧志公設市場」の再整備の今後の取り組みについて伺う。

法にかなない、情にかなない、理にかなうような前向きな取り組みを要望する。

1 県もワーキングチームを作った進めることを前向きに検討すると聞いている。教育委員会としても特別支援学校設置は必要だと認識しているの

で今後とも県と連携を図り進めていきたい。

2 従来の3つの案に「長寿命化工事案」を加え4つの案で改めて検討し直すことにした。安全性や防災、コスト削減、街なか居住等の観点や事業者の視点、来街者の動線といった多角的な観点等を鑑み柔軟に対応したい。

1 集会所が無い自治会は何力所か。また、公園を有効活用し、自治会事務所・集会所の設置を推進してはどうか。

2 戦後の沖縄美術活動の拠点であったニシムイ美術村、その美術村跡における整備事業について、その意義及び今後の取り組みについて伺う。

1 157自治会のうち、集会所等の設置がある自

ながら進めていきたい。

2 琉球泡盛によるかんばんの奨励は意義があり、地産地消を促進し、泡盛産業の振興に大きく貢献できるものと考えている。

3 遺族会とも意見交換して慎重に検討したい。

1 本市への知的障がい特別支援学校設置にむけた取り組みと県との連携、話し合いの進捗を伺う。

那覇市に知的障がい特別支援学校設置を！



■金城 敏雄  
(自民党)

1 本市への知的障がい特別支援学校設置にむけた取り組みと県との連携、話し合いの進捗を伺う。

2 那覇市長、教育長、教育行政のプロとしてぜひ政策の実現力を期待する。

2 那覇市の発展につながる「那覇市第一牧志公設市場」の再整備の今後の取り組みについて伺う。

法にかなない、情にかなない、理にかなうような前向きな取り組みを要望する。

1 県もワーキングチームを作った進めることを前向きに検討すると聞いている。教育委員会としても特別支援学校設置は必要だと認識しているの

で今後とも県と連携を図り進めていきたい。

2 従来の3つの案に「長寿命化工事案」を加え4つの案で改めて検討し直すことにした。安全性や防災、コスト削減、街なか居住等の観点や事業者の視点、来街者の動線といった多角的な観点等を鑑み柔軟に対応したい。

1 集会所が無い自治会は何力所か。また、公園を有効活用し、自治会事務所・集会所の設置を推進してはどうか。

2 戦後の沖縄美術活動の拠点であったニシムイ美術村、その美術村跡における整備事業について、その意義及び今後の取り組みについて伺う。

1 157自治会のうち、集会所等の設置がある自

ながら進めていきたい。

2 琉球泡盛によるかんばんの奨励は意義があり、地産地消を促進し、泡盛産業の振興に大きく貢献できるものと考えている。

3 遺族会とも意見交換して慎重に検討したい。

1 本市への知的障がい特別支援学校設置にむけた取り組みと県との連携、話し合いの進捗を伺う。

2 那覇市長、教育長、教育行政のプロとしてぜひ政策の実現力を期待する。

2 那覇市の発展につながる「那覇市第一牧志公設市場」の再整備の今後の取り組みについて伺う。

法にかなない、情にかなない、理にかなうような前向きな取り組みを要望する。

1 県もワーキングチームを作った進めることを前向きに検討すると聞いている。教育委員会としても特別支援学校設置は必要だと認識しているの

で今後とも県と連携を図り進めていきたい。

2月定例会は2月12日(金)に開会予定です。親子傍聴席もあります。



県道の地下約2メートルに遺跡



■翁長大輔  
(日本共産党)

1 首里平良橋周辺遺跡は琉球王朝時代や沖縄戦の歴史を合わせ持つ場所。道や川の整備は重要だが保存が困難ならば、次善の計画と市民が歴史文化保存にどう協力が出来るのか伺う。

2 地域経済活性化の為にリゾート・リーガルウェディングへの取り組みを強めるべき。見解を問う。

■関係部長

1 沖縄県南部土木事務

私道整備補助制度について



■多和田栄子  
(社社市民ネット)

1 私道整備補助制度について以下伺う。

①補助対象となる工事の種類及び金額

②補助金の実績

③広報の取り組み

2 公立型認定こども園について以下伺う。

①職員配置等について

②移行する園で勤務する職員の身分について

■関係部長

1 ①工事の種類は、舗装工事、側溝工事、土留

飲酒運転根絶のまちづくりを



■大城幼子  
(公明党)

平成27年11月18日未明に、本市内で、飲酒絡みの悲惨な死亡事故が発生した。飲酒運転根絶に向

けた取り組みが必要である。市長の見解を伺う。

■市長・関係部長

今回の飲酒運転による

死亡事故を受け、那覇警

察署・関係機関とともに

飲酒運転根絶運動開始式

を開催し、多くの市民や

企業とともに飲酒運転根

絶緊急アピールを行った。

本県においては、飲酒

が絡む交通事故・死亡事

故の割合が全国ワースト

であり、本市や警察を含

環境保全のために市内の農地保護を



■我如古一郎  
(日本共産党)

1 相続による売却、高齢化や後継者不足などで農地は減るばかり。農地があることの効果、残す意義を問う。

2 市内の農地への税金対策や合理的な地域の土地利用、都市計画の推進の観点など、都市農業や市街化区域の農地について副市長の見解を問う。

■副市長・関係部長

1 農地は、生産基盤であると共に、子どもたち

介護離職について



■上原快佐  
(社社市民ネット)

介護離職について伺う。(アベノミクス新3本の矢において、介護離職ゼロという大方針が打ち出されている。総務省の平成24年就業構造基本調査

仕事を辞めた方の数は、実情把握していない。沖縄県の高齢者福祉介護課にも確認したが、介護離職者についての統計は取っていないとのことである。本市の対応としては、在宅介護に関する相談や

必要に応じて施設等に関する情報提供を行うなど、介護負担の軽減に努めている。また、認知症介護を支える家族会との意見交換を実施し、介護者の声、ニーズを把握する機会を設けている。

市道の違反屋外広告物の除去について



■翁長俊英  
(公明党)

①これまで定例会で路上等の美観の維持、違反広告物の取り締まりの実効性を高めるため、ボランティアによる違反広告物の撤去ができるような仕組み作りを提案してきた。当時の部長から具体的に検討を進めていきたいとの答弁があったがその後の進捗を伺う。

②昨年12月1日、那覇市路上違反簡易広告物除去活動員要綱が施行された

が、その概要を伺う。

①市道の違反屋外広告物の除去は中核市移行に伴い権限移譲されたので、市民との連携を図るため要綱を施行した。

②除去可能な範囲は市管理の市道、里道及び農道であり、対象者は市民団体、企業その他の団体となっている。違反簡易広告物が多い箇所を中心に職員が除去活動をしているが、占有者である電力やNTTなどの電柱等の管理者と共同で除去活動をしているところである。

中城御殿の復元建設計画の進捗状況



■大浜安史  
(公明党)

1 旧県立博物館の跡地に中城御殿の復元建設計画が予定されているがその進捗状況を伺う。

2 大名小学校体育館の老朽化に伴う建替計画について伺う。

■関係部長

1 平成22年に基本構想、23年に基本計画、24年から26年にかけて中城御殿復元検討委員会で審議を

い28年1月中の仮契約締結に向け作業中で、28年度内のできるだけ早い時期の完成を目指している。

「胃がんリスク検診」の導入を



■喜舎場盛三  
(公明党)

①胃がんの原因の8割はピロリ菌が関係しているといわれており、胃がんリスク検査を導入するとがん検診受診率と胃がん発見率が高くなるとの報告があるようだが、本市の胃がん検診でも検討できないか。

②本市の特定健診に取り入れることができないか、伺う。

①胃がんリスク検診は、

血液検査だけで判断でき、従来の胃がん検診のバリウム検査に比べて検査を受けやすく、胃がんのリスクを知る上で有効である。引き続き国の動向を踏まえながら検討していきたいと考えている。

公園行政について



■山城誠司  
(新風会)

以前から新都心公園あるいは漫湖公園では、公園利用者以外の方による長時間駐車が多いと、市民から多くの声がある。そのような中、公園利用者が駐車できないこの状況をどう対策していくのか以下伺う。

①これまでの課題と対策について

②今後の取り組みについて

①新都心公園と漫湖公園の駐車場管理をシルバー人材センターに委託し、公園利用者以外の者による長時間駐車を行わないよう注意、指導を行っているが、十分な効果が得られない状況があり、その対策が課題である。

②今回新都心公園と漫湖公園の駐車場において、公園利用者以外の者による長時間駐車を排除する対策として、社会実験による有料化を予定している。その社会実験の結果を検証し、本格運用につなげていきたい。





「住宅騒音防止対策事業」の進捗状況



■桑江 豊  
(公明党)

- 1 住宅騒音防止対策事業について以下伺う。
- ①市長の国への要請行動の内容と成果について
- ②防音工事の希望届件数及び同工事着手件数
- 2 外国人観光客の急患受け入れ対応の現状及び課題について伺う。

関係部長

- 1 平成27年9月、市長は国土交通省及び防衛省に対して、那覇空港周辺における住宅防音工事

認可外保育施設に対する支援等について



■亀島賢二郎  
(無所属)

- 1 シングルマザーとして2人の子供を支えた市長の、認可外保育施設に対する支援の思いを伺う。
- 2 保健所を持っている本市のHIV感染者の実態と取り組みを伺う。

市長・関係部長

- 1 戦後の米軍統治下の中で、保育環境の整備が遅れたこの沖縄県において、認可外保育施設は非常に重要なウエイトを占めていたと思う。

平和のシンボル「陽光桜」で地域づくり



■野原嘉孝  
(公明党)

- ①真嘉比遊水地に平和のシンボル・陽光桜を植樹し地域活性化に貢献しようとの取り組みが立ち上

がっているが見解を伺う。

②真嘉比川の治水対策について県との連携はどうなっているか伺う。

関係部長

- ①昨年は松島自治会が戦後70年ということで、下地に陽光桜70本を植樹し、今年には中池に山川町自治会も協力して60本植樹している。桜の植樹を通して地域間の交流が図られ、桜が地域の皆様の力で立派に成長し、桜の名所と

「保育体制強化事業」の早期実施を！



■奥間 亮  
(自民党)

- 1 保育士の待遇を改善し、支援する「保育体制強化事業」を早急に実施すべきである。
- 2 子供の多い世帯への支援をさらに充実させるために「多子世帯への保育助成」を実施すべき。
- 3 公民館や図書館等のパソコンやIT機器を充実させ、自主学習しやすい環境をさらに整備し特に自主学習ソフトを購入して、公民館のパソコン

関係部長

- 1 保育士の待遇改善の「保育体制強化事業」については、次年度からの実施に向けて取り組んでいく。
- 2 多子世帯の保育料を助成することで、保護者の負担軽減及び待機児童対策に資するものと考えており、財源等を含めた課題を整理していく。
- 3 自主学習支援ソフト等の部分については、今後調査をしながら検討していく。

那覇市営住宅ストック総合活用計画等について



■高良正幸  
(新風会)

- 1 第3次那覇市営住宅ストック総合活用計画の目的と内容を伺う。
- 2 学校施設耐震化事業の目的と内容を伺う。

関係部長

- 1 市営住宅ストックの計画的な建替え、改善等を図ることを目的に平成26年度に第3次計画を策定しており、本市の実情を踏まえた市営住宅ストックの活用方針と円滑な事業の推進に向けた事業手法、スケジュール、適正な管理運用のあり方

を定めた内容である。

- 2 学校施設耐震化事業は、昭和56年の新耐震基準に基づく建築基準法改正以前に建築された耐震性のない校舎等について、耐震補強を行うことで建物の耐震性を改善するこ

SIB(ソーシャルインパクトボンド)の検討を



■中村圭介  
(無所属の会)

- 1 那覇でソーシャルインパクトボンドを活用した場合の利点と懸念事項について見解を問う。
- 2 なは市民協働プラザの今後の方向性を問う。
- 3 発達障がい者支援の取組の中でティーチャーズトレーニングへの学校側からの支援状況を問う。

関係部長

- 1 この制度については国や先進自治体の動向を注視し、調査研究等々も

防災行政について



■糸数昌洋  
(公明党)

- 1 平成27年3月に県が公表した津波浸水想定への本市の対応について
- 2 本市の電子版防災マップの利用状況について

関係部長

- 1 平成27年5月に那覇市防災会議を開催し、津波浸水想定の見直しについて検討を行い、那覇市地域防災計画を修正した。併せてホームページで

とを目的としている。

- 2 耐震診断の結果、耐震性がないと判断された校舎等について、耐震設計を行い、耐震補強工事を行うことが事業の内容である。

含めて考えていきたい。

- 2 協働によるまちづくりの裾野を広げ、将来的には各種課題の解決に向けて中心的な施設となるよう期待している。
- 3 同事業を受講した教員などは、平成26年度は小学校のみで6人だった。教育委員会としては、校長連絡協議会や特別支援教育コーディネーター連絡会などを通して同事業を周知し、受講の促進を図っている。今後も発達障がいをもつ児童生徒への効果的な特別支援教育の充実に努めたい。

- 公開している電子版那覇市防災マップのデータ更新を実施し、市民への周知を行っている。津波襲来に備え、引き続き市民の安全・安心の確保に取り組んでいく。
- 2 電子版防災マップは、海抜、土砂災害警戒区域、津波等の浸水予測など約20項目の防災情報から必要な情報を確認でき、最新の避難所等をタブレット、スマートフォンからでも確認できる。市民及び観光客が最新

◆12月定例会で可決。同意された主な議案

- ▽那覇市行政不服審査会条例制定について
- ▽那覇市立幼保連携型認定こども園条例制定について
- ▽平成27年度那覇市一般会計補正予算(第6号)ほか補正予算4件
- ▽財産の取得について(那覇市与儀保育所予定施設の取得(農連市場市営住宅(仮称)の取得))
- ▽那覇市共同利用施設(那覇市大嶺自治会館)の指定管理者の指定について(その他自治会館8件)
- ▽那覇市パレット市民劇場及び那覇市民ギャラリーの指定管理者の指定について
- ▽那覇市ぶんかテンプス館の指定管理者の指定について
- ▽那覇市総合福祉センター(仮称)那覇市母子・父子福祉センターを除く)の指定管理者の指定について
- ▽那覇市精神障がい者地域生活支援センターの指定管理者の指定について
- ▽那覇市古波蔵児童館の指定管理者の指定について
- ▽那覇市母子生活支援センターさくらの指定管理者の指定について
- ▽(仮称)那覇市母子・父子福祉センターの指定管理者の指定について
- ▽那覇市緑化センターの指定管理者の指定について
- ▽那覇市波の上ビーチ広場の指定管理者の指定について
- ▽那覇市体育施設の指定管理者の指定について
- ▽那覇市宮奥武山体育施設の指定管理者の指定について
- ▽那覇市健康増進計画「健康なは21(第2次)」について

※すべての議決結果について那覇市議会ホームページで確認できます。




12月定例会常任委員会の審査概要			
予算決算常任委員会			
議案第116号から131号までの6件の事件については、12月15日及び16日の各分科会において、詳細な審査を行いました。その後、12月21日の委員会において、各分科会委員長の審査報告を聴取し採決を行った結果、それぞれ全会一致により、原案のとおり可決すべきものと決しました。			
総務分科会			
議案第127号平成27年度那覇市一般会計補正予算第6号中総務部総務課関係分の増額補正する那覇市歌選定委員会事務費へ、委員から今までの取り組みと今後の予定について質疑があり、当局から26年度末に第1回選定委員会を開催し、4つの地域部会を1回ずつ行った。今年度末までに各地域部会を3回ずつ行って今年度中を目標に歌詞素案を作成し選定する計画との説明がありました。			
教育福祉分科会			
介護保険事業特別会計補正予算の認知症のサポートー養成事業について、当局から、サポートー養成は今年度6400人を予定している、平成27年10月末現在で合計1万3278人を養成した、との答弁がありました。委員から、当初の予想以上にサポートーが増えることは望ましいこと、今後も市民の思いをしっかりと受けとめて対応するようにと要望がありました。			
建設分科会			
沖縄都市モノレール延長事業について、事前に配布された政策説明資料では、工事進捗が早まりPC軌道桁の製作を前倒する事が補正予算の理由だったが、委員会で説明された補正予算の理由は、労務単価、資材単価の高騰によって予算が不足しており、説明が違ったことについて総括質疑が行われ、委員から、今後このようなことがないように、との強い指摘がありました。			
厚生経済分科会			
本市が購入した絵画作品の売却について、委員から、売却の経緯について質疑がありました。当局から、文化振興に役立てることを目的に平成2年に購入したが、傷みがあるので県外での修復が必要であり、記念美術館を所有する遺族への売却が適当と判断した、との答弁がありました。これに対し委員から、購入金額より安い金額で売却することは疑義があると指摘がありました。			
総務常任委員会			
那覇市行政不服審査条例制定について、委員から、審査会は3人で構成とのことだが、どういふ方を想定しているかと質疑があり、第3条の規定で弁護士や法律関係の大学教授を想定していると答弁があり、公認会計士や税理士は想定していないのかとの質疑には、仮に地方税に関する審査請求があった場合は第6条に規定する専門員として選任し審査に活かしたいとの答弁がありました。結論として議案第112号から165号までの6件は原案の通り可決すべきもの、議案第158号については同意すべきものと決しました。			
教育福祉常任委員会			
指定管理者指定に関する8件の議案に応募者が少ない状況について、委員から、指定管理者は、同じ土俵の中でより良い工夫をする事業者を選定するものであり、多くの団体が応募できるように工夫が必要、また他の委員からは、市母子生活支援センターを例に、長期的支援が必要な施設は、競争に適するのかを検討し指定管理のあり方を見直すべきとの意見が出されました。結論として、指定管理者指定に関する8件は同意すべきものとし、他の議案11件を含めて計19件の議案は原案可決及び同意すべきと決しました。			
建設常任委員会			
那覇市波の上ビーチ広場の指定管理者の指定について、委員から、那覇市が管理する波の上ビーチ広場と那覇港管理組合が管理する波の上ビーチの一体的な管理はできないか、との質疑がありました。これに対し当局から、那覇港管理組合と協議したところ、団体が違うため一体的な管理はできないが、次年度からは連携した管理をしようことを合意し、協定書を締結したところである、との説明がありました。結論として、議案第124号については可決、議案133号から157号までの6件については、同意と決しました。			
厚生経済常任委員会			
那覇市IT創造館の指定管理者の指定について、委員から、審議会委員の1人が重要な役職を務める団体と、申請団体の住所が隣り合せとなっていることや、両団体が県の事業を合同企業体の構成員として受注していることは、委員が利害関係者に該当するのではないかと指摘がありました。当局から、経済観光部で定める、申請団体の役員等への3年以内の就任など、3要件には該当しないので利害関係はなかったと理解しているとの答弁がありました。結論として、採決の結果、賛成少数により不同意とすべきと決しました。			

議案 (全会一致を除く) に対する議員の賛否一覧 (平成27年12月定例会・11月臨時会)

○・・・賛成、×・・・反対、退・・・退席 ◆那覇市議会議員 条例定数40名 現員数38名

議決年月日	議員氏名、等  件 名	出席者数	表決総数	賛成	反対	議決結果	議席	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
							1 公明 喜舎場盛三	公明 大城幼子	公明 野原嘉孝	ひや 瀬長清	ひや 屋良栄作	ひや 坂井浩二	無属 中村圭介	無属 前泊美紀	民主 花城正樹	民主 清水磨男	公明 糸数昌洋	公明 桑江俊英	公明 翁長俊史	公明 大浜安史	社社 宮平のり子	社社 多和田栄子	社社 下地敏男	社社 上原快佐	社社 平良識子	社社 宮城恵美子	社社 亀島賢二郎	新風 金城眞徳	(欠員)		(欠員)		共産 翁長大輔	共産 前田千尋	自民 奥間亮	自民 金城敏雄	自民 栗國彰	自民 久高友弘	新風 平良仁一	新風 高良正幸	新風 山城誠司	新風 仲松寛	新風 渡久地政博	新風 知念一郎	共産 湧川朝涉	共産 古堅茂治
11月4日	県民の圧倒的民意を自己破壊的破壊手段に引きずり、地方自治を破壊する法に建設工事の中止を求める意見書	38	37	33	4	可決（賛成多数）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
12月24日	那覇市IT創造館の指定管理者の指定について	38	36	17	19	不同意（賛成少数）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	退	○	○	○	○	○	
12月24日	（陳情第102号・第121号）所得税法56条廃止の意見書提出を求めることについて	38	37	33	4	採択（賛成多数）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※会派名略称 公明：公明党 新風：新風会 社社：社社市民ネット 共産：日本共産党 自民：自民党 ひや：ひやみかち那覇・無所属の会 無属：無所属の会 民主：なは民主  
会派無所属は表示なし



### 第2次那覇市教育振興基本計画について所管事務調査、全員協議会を開催

市議会では、第4次那覇市総合計画にある教育に関する「第2次那覇市教育振興基本計画(案)について、所管である「教育福祉常任委員会」において、所管事務長調査等を進めてきました。同計画(案)は、平成27年度終了の第1次計画の成果等、県や国の策定された教育振興基本計画の状況を踏まえて教育委員会において策定されたものです。

1回目の全員協議会(11月24日)で当局から全議員への説明と質疑を行いました。その後、教育福祉常任委員会でも内容を協議し、2回目の全員協議会(12月14日)で同委員会からの説明と全議員で意見交換を行いました。

全員協議会での活発な議論や委員会での協議を踏まえ、12月定例会最終日に、金城眞徳教育福祉常任委員長から、同計画(案)の所管事務調査報告を行いました。

なお同計画(案)は、那覇市議会基本条例において、議会の議決事件として規定されており、次期の2月定例会に上程される予定です。



第6回議会報告会

11月25日・26日、4会場で開催しました。

今回の議会報告会では、議会で審議した平成26年度決算審査の報告とともに、4常任委員会で審議した、市民意識調査実施事業(総務常任委員会)、バス停上屋整備事業及び歴史散歩整備事業(建設常任委員会)、市立幼稚園の認定こども園移行について(教育福祉常任委員会)、那覇市第一牧志公設市場再整備について(厚生経済常任委員会)について報告し、意見を交わしました。

小禄自治会館  
参加者25人

牧志駅前  
ほしぞら公民館  
参加者20人



首里支所会議室  
参加者17人



古蔵小学校  
参加者18人



議会報告会の要望書を市長に手交

第6回議会報告会の内容をとりまとめた要望書を、金城徹議長から城間幹子市長に手交しました。(平成27年12月24日)  
執行機関に対する重点要望事項は左記のとおりです。

○重点要望事項

- 1 待機児童解消について  
待機児童解消のため、施設の整備の他、保育士の環境整備を行ってほしい。
- 2 那覇市第1牧志公設市場の再整備について  
嘆願書、陳情書の回答方法は、文書による回答のみではなく、口頭での説明を行ってほしい。



厚生経済常任委員会  
陳情を受け現場を視察

厚生経済常任委員会(湧川朝渉委員長)は、沖縄考古学会(當眞嗣一会長)から提出された「城西小学校敷地内における埋蔵文化財の取り扱いに関することについて」と「首里平良橋周辺遺跡の保存と活用に関することについて」の陳情を受け、去る12月21日に、市民文化部文化財課職員による説明のもと、現場視察を行いました。

両陳情は、近接する首里城跡などの世界遺産と関連をもつものと考えられることから、今後の発掘調査に万全を期すとともに、遺跡の保存と活用について十分な検討が行われることなどを要請するものです。

「城西小学校敷地内における埋蔵文化財の取り扱いに関することについて」は当委員会の審査結果を受け、12月24日の本会議において全会一致で採択されました。



城西小学校敷地内の埋蔵文化財



首里平良橋周辺遺跡

県民の圧倒的民意を踏みにじり、地方自治と民主主義を破壊する政府の強権的手法に抗議し、米軍新基地建設工事の即時中止を求める意見書

10月27日、石井啓一国土交通相は、名護市辺野古への米軍新基地建設に必要な前知事の埋め立て承認を翁長雄志知事が取り消したことに、行政不服審査法に基づいて取り消した効力の「執行停止」を行った。同時に、安倍内閣は、国が知事に代わって埋め立てを承認する「代執行」の手続きを進めることを閣議決定し、国土交通省が28日に手続きを開始した。29日には、沖縄防衛局が本体工事を強行した。

安倍政権の新基地建設に向けた一連の強権的手法は、翁長知事の意思と沖縄の圧倒的民意を踏みにじり、地方自治と民主主義を破壊するものであり、法治国家として到底許されない暴挙で言語道断である。

沖縄の「新基地建設反対」の民意は、名護市長選、県知事選、総選挙などで繰り返し示され、翁長知事による前知事の埋め立て承認の取り消しの英断については、直近の世論調査で約8割の県民が「支持」していることでも明らかである。

行政不服審査法は、行政庁の違法又は不当な処分その他公権力の行使に当たる行為に関し、国民に対して広く行政庁に対する不服申立ての機会を開くことによって、「国民の権利利益の救済を図る」ことを目的としている。然るに、辺野古への新基地建設を「唯一の解決策」とする国の機関・沖縄防衛局が一般の「私人」をかたり、申し立てを行い、同じ国の機関・国土交通相が審査して工事継続を認めるなどというのは、公平性、客観性を欠いた法の悪用でしかなく、「自作自演」「出来レース」と沖縄県をはじめ、多くの法律関係者、マスコミなどが厳しく指弾している。

戦後70年、県民の生命と安全を脅かし、県経済発展の最大の障害ともなっている米軍普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設断念、オスプレイ配備撤回は、保革を超えた県民の総意であり、「建白書」に応えるのが民主国家である日米両政府の責務であると考えられる。民意を無視し不法・不当を重ねて新基地を強引に建設することは、県民を愚弄するもので断じて許されるものではない。

国際法に反し、県民の土地を米軍が強制接収して建設した米軍基地の成り立ちと沖縄の苦難の歴史を踏まえ、うちなんちゅの誇りと尊厳をかけて、「新基地を造らせない」とする翁長知事の揺るぎない姿勢と県民の圧倒的意思は、政府のどんな強権的手法をもっても断じて屈することはない。

よって本市議会は、市民・県民の生命と安全、沖縄の自己決定権と人権を守る立場から、安倍政権による辺野古への新基地建設に向けた埋め立て承認の取り消しの「効力停止」、「代執行」の手続き開始、「本工事着手」の強権的手法に怒りを込めて抗議し、新基地建設工事の即時中止を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。  
平成27年(2015年)11月4日

那覇市議会

あて先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、国土交通大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、かがみをつけて米国大統領、駐日米国大使

交通事故防止対策と飲酒運転根絶のさらなる推進に関する宣言決議

交通事故のない、安心安全な交通環境の実現は、市民共通の願いであり、これまで行政機関や、団体、市民一人ひとりが賢明な取り組みを重ねてきたところであるが、依然として交通死亡事故や飲酒運転絡みの事故は多発している。

11月18日に、本市において、飲酒絡みの悲惨な死亡事故が発生した。交通死亡事故については、11月時点において前年の同時期と比べ県内および那覇警察署管内で増加しており、また飲酒運転による悲惨な死亡事故が後を絶たず、本県ではいまだ飲酒運転絡みによる死亡事故及び人身事故が全国ワースト1という現状がある。

このような中、今月1日に「那覇地区飲酒運転根絶運動開始式」が開催され、那覇警察署管内の101社から126人の市民県民が参加し、飲酒運転根絶に向けた力強い運動が展開されている。

こうしたことに鑑み、那覇地区交通安全協会は「飲酒運転根絶ピンバッジ」と「飲酒運転ステッカー」を製作し、普及させることで飲酒運転根絶を啓発する新たな取り組みを始め、運動の広がりを目指している。

よって本市議会は、これらの飲酒運転根絶運動と共に、これまでの交通事故防止に対する取り組みを一層支援するとともに、飲酒運転根絶をさらに推進することをここに宣言する。以上、決議する。

平成27年(2015年)12月24日

那覇市議会

ホノルル市長ほか関係者が  
議長を表敬訪問

去る11月4日に、那覇市と姉妹都市を締結しているハワイ州ホノルル市のカーク・コールドウェル市長一行ほか、ハワイ沖縄連合会の訪問団9人の方々が那覇市を訪れ、議長を表敬訪問しました。

カーク・コールドウェル市長は、同日に開会した市議会臨時会において、国際親善名誉市民として顕彰されました。



国立療養所沖縄愛楽園  
(名護市)を激励訪問

教育福祉常任委員会(金城眞徳委員長)は、11月30日に国立療養所沖縄愛楽園に入所している那覇市出身者の皆さんを激励訪問しました。

61回目となる今回の訪問では、納骨堂への献花・黙祷を行った後、今年オープンした社会交流会館を見学しました。

その後入所者の那覇郷友会の皆様との懇談、舞踊団の方々の華やかな公演の鑑賞を通してお互いの交流を深めました。



**とびだせ！編集委員会！**

〓金城中学校を訪問（12月22日）〓



が充実しているとの評価がありました。

工夫してほしい点は「漢字にふりがな」「豆知識・Q&A」「連載」などが挙げられていました。他に「那覇市にあつたスポーツや文化面など」の入り易い内容から徐々に政治を理解させるのがいいのではないかと、難解な用語には解説の工夫も必要との意見もありました。

美しい瞳、ハツとさせられる聡明さなど印象的な生徒たちでした。喜屋武校長、生徒会担当の上原先生のご協力に感謝申し上げます。

今回は金城中学校を訪問しました。金城小学校、那覇西高校が隣接し、小学生が同校正門から下校する様子や緑の多さが物心共に豊かさを醸し出しておりました。



## 写真で振り返る 2015 年 那覇市議会の主な動き



4月臨時会の龍柱設置の補正予算に関する予算決算常任委員会において、本会議場では初めてとなる、参考人の方々を招致しての質疑を行いました。（5月1日）



2月定例会において、議員提案により「めんそーれ那覇市観光振興条例」が制定されました。議員提案の政策的条例としては、平成18年度制定の那覇市路上喫煙防止条例制定以来です。（写真は若狭バースの大型クルーズ船）



5月に市内4会場で第5回議会報告会を開催しました。議会での審議結果を市民の皆様へ報告するとともに意見交換を行い、その後市民からの要望事項を市長に報告し、要望事項に対して検討していく等の回答がありました。同じく11月にも市内4会場で第6回議会報告会を開催しました。



金城徹議長が全国市議会議長会の副会長に選任される（6月17日）



選挙により新副議長に古堅茂治議員を選任（8月13日）



健康づくり施策の基本計画となる「健康なは21(第2次)」について、9月と10月に全員協議会を開催し、所管事務調査を経て議会からの要望事項を市長に提出しました。



ホノルル市長の国際親善名誉市民顕彰式（11月4日）

これまで市議会議員と生徒の意見交換会「とびだせ！編集委員会」が、首里中をかわきりに、仲井真中、上山中に続いて、金城中を訪問しました。意見交換会を通して、中学生から、議会で使われる用語の解説を掲載して欲しい等の意見が有りました。

**編集後記**

地方公共団体の長がその権限に属する事務を執行するにあたり、その前提となる議会の議決のことをいう。

（地方議会運営事典より）

**議会用語の解説**

可決、否決

予算、条例、意見書などについての意思決定のことをいう。

同意、不同意



なは市民協働プラザ開所式に金城徹議長が出席、挨拶（3月29日）